

日本フィルハーモニー交響楽団 ソロ・コンサートマスター

きのまさゆき

木野雅之 三鉄応援コンサート

2012年

2月7日(火) 12:00~

(1時間程度)

三陸鉄道北リアス線宮古駅

ホーム停車中の列車内

宮古市栄町4

三鉄車内がコンサートホールに!!

三鉄ファンクラブ会員でもある

クラシック音楽界屈指の鉄道ファ

ン

木野氏の名演をお楽しみください

(無料です)

©明石一矢

共演者



ひらさわ まさあき
平沢 匡朗 (ピアノ、チェンバロ)



おおつき ふみか
大槻 文香 (ヴァイオリン)

ご案内役：松元 宏康 (指揮者)

このコンサートについて

木野雅之氏は東京を拠点に活動するプロオーケストラ・日本フィルハーモニー交響楽団で、団員のリーダー的存在である「ソロ・コンサートマスター」という重責を務めています。多忙な音楽家であると同時に、根っからの“鉄道ファン”という一面を持ち、数年前に三陸鉄道や岩泉線などに訪れた経験があります。そんな木野氏を招き、昨年7月、三陸鉄道主催によるイベントが南リアス線沿線で計画されていましたが、東日本大震災の発生で中止に。それでも木野氏は、全国各地の演奏会場で三陸鉄道復旧支援や岩手県沿岸部の音楽教育振興の一助にと、積極的な活動を展開しています。その皮切りとして昨年7月に大船渡市と陸前高田市で最初の被災地コンサートを開きました。2回目となる被災地演奏会は、前回共演した木野氏の同級生でピアニストの平沢匡朗氏に加え、木野氏のお弟子さんで武蔵野音楽大学3年生の大槻文香さん(宮城県出身)が出演。プロ指揮者の松元宏康氏がコンサートの案内役を務めます。少しでも心の安らぎにつながる時間になればと思っております。

出演者プロフィール



木野 雅之 *Masayuki Kino*

1963年東京都生まれ。日比野愛次、篠崎功子、西川重三にバイオリンを学ぶ。桐朋高校音楽科を卒業後、ロンドンのギルドホール音楽院に留学。イフラ・ニーマン、卒業後はナタン・ミルシテイン、ルッジェーロ・リッチ、イヴリー・ギトリスに師事。現在はロンドンと東京を本拠地とし、ソロや室内楽のリサイタルのほか、日本フィルハーモニー交響楽団ではソロ・コンサートマスターを務める。後進の指導にも情熱を注ぎ、97年から毎夏、長野県白馬村（2007年まで）三重県志摩市合歓の郷（2008年から）にてマスター・クラスを開催、2009年8月には第3回磨川音楽祭を主催。桐朋学園大学、武蔵野音楽大学でも教鞭を執る。使用楽器は、ルッジェーロ・リッチ氏から譲り受けた1776年製のロレンツォ・ストリオニ（イタリア北部のヴァイオリン生産地・クレモナで製造）。

問い合わせ

平沢 匡朗 *Masaaki Hirasawa* 児玉直人（現地世話役）胆沢郡金ヶ崎町西根高堰 16-5 電話 090-2957-1379

桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山 靖子、渡邊 康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。日演連主催「えんれん」コンサート、横浜市新人演奏会等に出演。堤俊作指揮ロイヤルチェンバーオーケストラ定期演奏会でのベートーヴェンの第4番、東京交響楽団とのモーツァルトの第24番など、各地でのピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK・FM『FMリサイタル』などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。また室内楽奏者としても、カリン・アダム、マルタ・カーデム＝ミサク、瀬戸 瑠子、天満 敦子、木野 雅之、等のヴァイオリニスト、宮原 卓也、原田 茂生他の声楽家と共演するなど、各地で演奏活動を行っている。1996年より毎夏、ウィーン近郊の町、ホルン (Horn)における《Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭》に参加、コレペティトウアおよびピアノ・マスタークラスを担当している。また、洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。ピアノのほか、バロック時代の室内楽伴奏用鍵盤楽器として知られる、チェンバロの演奏もこなす。



大槻 文香 *Fumika Otsuki*

宮城県仙台市出身。4歳よりヴァイオリンを習い始める。父親の仕事の関係で、小学校6年から中学校2年までインドで生活。現在は武蔵野音楽大学器楽学科ヴァイオリン専攻3年に在学している。これまでに、ヴァイオリンを勅使河原真実、志賀恵子、木野雅之の各氏、室内楽をシャンドール・ナジ氏に師事している。

ご案内役

松元 宏康 *Hiroyasu Matsumoto*

1975年東京都生まれ。洗足学園音楽大学音楽学部卒業。洗足学園音楽大学附属指揮研究所マスターコース修了。2003年式研究所修了後、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮研究員、06年に副指揮者に就任する。08年の契約満了後は東京に拠点を移し群馬交響楽団、山形交響楽団、東京吹奏楽団、東京佼成ウインドオーケストラなどに定期的に客演指揮している。また在京の若手プロ奏者によって2003年に結成された吹奏楽団「ブリッズ・プラス」では音楽監督・常任指揮者を務める。指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコア・リーディングを島田玲子、山内のり子の各氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事。

